

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2022年度)

専門分野区分	作品制作	科目名	DC制作研究				科目コード	D1930A1		
配当期	通年	授業実施形態	通常				単位数	8 単位		
担当教員名	山本 成樹	履修グループ	4D(SC)				授業方法	演習		
実務経験の内容	遊技機開発歴7年、映像・遊技・ゲームでのプロデューサー歴10年、ディレクター職2年、並びに採用人事を広く務めていましたので、そちらの経験を活かしてDC制作研究についての授業を進めます。									
学習一般目標	映像業界でCGクリエイターとして活躍できる即戦力を要請します。 ポートフォリオ作品(映像作品含む)を中心としたCG映像の制作を行う。 就職活動用ポートフォリオへ入れる作品をメインに制作全般を行う。									
授業の概要および学習上の助言	制作における成果物に対しても研究とそのまとめ モデリング、コンポジットをメインに個々の映像制作におけるポートフォリオの全ての制作									
教科書および参考書										
履修に必要な予備知識や技能										
使用機器										
使用ソフト	AE PS 3dsmax									
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1	画コンテからスカルプトやモデリングCGエフェクト映像制作が出来る								
	2									
	3									
	4	3DCG、2DCGコンポジットのワークフローにて効率の良い管理が出来る								
	5									
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解					70			70
		2.思考・判断								
		3.態度								
		4.技能・表現					30			30
		5.関心・意欲							20	20
	総合評価割合						100			
評価の要点										
評価方法		評価の実施方法と注意点								
試験										

小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	
作品	提出課題作品により、理解度や技能を判断する。
ポートフォリオ	
その他	

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	ポートフォリオ作品を想定した映像作品制作1 個々の学生に対してアプローチ	講義・実習	AE基礎確認 応用確認
第2回	ポートフォリオ作品を想定した映像作品制作2 個々の学生に対してアプローチ	講義・実習	AE基礎確認 応用確認
第3回	ポートフォリオ作品を想定した映像作品制作3 個々の学生に対してアプローチ	講義・実習	AE応用確認 3DCG活用
第4回	ポートフォリオ作品を想定した映像作品制作4 個々の学生に対してアプローチ	講義・実習	AE応用確認 3DCG活用
第5回	ポートフォリオ作品を想定した映像作品制作5 個々の学生に対してアプローチ	講義・実習	AE応用確認 3DCG活用
第6回	ポートフォリオ作品を想定した映像作品制作6 個々の学生に対してアプローチ	講義・実習	AE応用確認 3DCG活用
第7回	ポートフォリオ作品を想定した映像作品制作7 個々の学生に対してアプローチ	講義・実習	AE応用確認 3DCG活用
第8回	ポートフォリオ作品を想定した映像作品制作8 個々の学生に対してアプローチ	講義・実習	AE応用確認 3DCG活用
第9回	ポートフォリオ作品を想定した映像作品制作9 個々の学生に対してアプローチ	講義・実習	AE応用確認 3DCG活用
第10回	ポートフォリオ作品を想定した映像作品制作10 個々の学生に対してアプローチ	講義・実習	AE応用確認 3DCG活用
第11回	ポートフォリオ作品を想定した映像作品制作11 個々の学生に対してアプローチ	講義・実習	AE応用確認 3DCG活用
第12回	ポートフォリオ作品を想定した映像作品制作12 個々の学生に対してアプローチ	講義・実習	AE応用確認 3DCG活用
第13回	ポートフォリオ作品を想定した映像作品制作13 チェック ブラッシュアップ	講義・実習	AE応用確認 3DCG活用
第14回	オンデマンド授業型 <課題として取り組むプロジェクト> 1. ポートフォリオ制作上で、自身の作品について客観的に分析して 補足したい部分や評価などを行う 2. それをレポートとして提出	オンラインにて課題に取り組む	6月1日～6月15日の間で実施

第15回

オンデマンド授業型

<課題として取り組むプロジェクト>

1. ポートフォリオ制作したうえで、授業内に反映出来た物についての自己評価と今後の課題
2. それをレポートとして提出

オンラインにて課題に取り組む

7月1日～7月15日の間で実施